**継続的専門能力開発(CPD)実績の記録（Ａ）**

**氏名**：　　　　　　　　　　　　　**登録番号**：

＊自身が行った専門能力開発(ＣＰＤ)について、以下の該当欄に記入し必要書類を添付して提出してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 専門能力開発の方法 | **１．JRCA登録CPDコースへの参加**●以下を記入し、それぞれの研修の「修了証」（“JRCA登録”と記載があるもの、コピー可）を添付すること。注）QMS審査員の2015年版移行、又はOHSAS18001審査員のISO45001:2018年版移行を「修了証」のみで申請できるのは、それぞれ「JRCA登録ISO9001差分研修」、「JRCA登録ISO45001差分研修」の表記があるものです。 |
| 研修コース名称 | 開催日 | 研修機関 | 修了証 | 時間 |
| ① |  |  | □添付 |  |
| ② |  |  | □添付 |  |
| ③ |  |  | □添付 |  |
| **２．IAF加盟認定機関から当該MSの認定を受けているMS認証機関が主催する研修等（所属する審査員を対象としたもの）への参加**●以下を記入し、それぞれの研修等の「プログラム」（コピー可）を添付すること。●さらに、それぞれの研修の「修了証」（コピー可）を添付、又は以下の証明欄にMS認証機関責任者の署名又は記名押印をもらうこと。注1）上記の修了証/責任者証明に代えて、「CPD実績の記録B」(様式4B) の提出でも可。（QMS審査員の2015年版移行の場合は「2015年版改訂規格学習の記録」(様式4C)、OHSAS18001審査員のISO45001:2018年版移行の場合は「JISQ45001(ISO45001)規格学習の記録」（様式4D））注2）QMS審査員の2015年版移行、OHSAS18001審査員のISO45001:2018年版移行のための研修等の場合は「移行」にチェックしてください。 |
| 研修等の名称 | 開催日 | MS認証機関 | QMS2015年OHSMS2018年移行 | ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ | 時間 |
| ① |  |  | □移行 | □添付 |  |
| ② |  |  | □移行 | □添付 |  |
| ③ |  |  | □移行 | □添付 |  |
| 上記のとおり、別紙プログラムに基づいて、申請者が該当するマネジメントシステム審査員としての専門能力開発に取組み、所定の事項を習得したことを証明します。 MS認証機関名：　　　　　　　　　　　　　　　　 所属・役職　：　　　　　　　　　　　　　　　　 氏名：＿＿＿＿＿\_\_\_＿＿＿＿＿ 　印 |
| **３．その他（上記１,２以外）の研修・セミナー・講演会等への参加**●以下を記入し、さらにそれぞれの「CPD実績の記録B」(様式4B) を作成し添付すること。（QMS2015年版移行の場合は「2015年版改訂規格学習の記録」(様式4C)、OHSAS18001審査員のISO45001：2018年版移行の場合は「JISQ45001(ISO45001)規格学習の記録」(様式4D)）●プログラムの添付は不要。 |
| 研修・セミナー・講演会等の名称 | 開催日 | 主催者 | CPD記録 | 時間 |
| ① |  |  | □添付 |  |
| ② |  |  | □添付 |  |
| ③ |  |  | □添付 |  |
| **４．自己学習等**●以下を記入し、それぞれの「CPD実績の記録B」(様式4B)を作成し添付すること。（QMS2015年版移行の場合は「2015年版改訂規格学習の記録」(様式4C)、OHSAS18001審査員のISO45001：2018年版移行の場合は「JISQ45001(ISO45001)規格学習の記録」(様式4D)） |
| 学習内容（使用した教材、書籍等の名称） | 実施日 | CPD記録 | 時間 |
| ① |  | □添付 |  |
| ② |  | □添付 |  |
| ③ |  | □添付 |  |
| **５．審査実績（ 審査実績によるCPD申請は,審査員補に限る ）**●JRCA AQ140／AE140／AI140／AO140の12項の“有効な審査実績”に該当する審査実績の場合は、「有効な審査実績証明」(様式5A)を作成し、審査スケジュールを添付して提出すること。●上記に該当しない場合は、審査種類、日時・対象組織、審査を通じて習得した事項を「CPD実績の記録B」(様式4B)に記述し、審査スケジュールを添付して提出すること。この場合は事前準備,報告等を含む審査に要した合計時間を申請できる。 | 時間 |
|  |
| **＊上記１～５のＣＰＤ時間の合計を、右欄に記入**複数ページになった場合は1枚のみに合計時間を記入注）資格の維持／更新の場合、主任審査員及び審査員は１５時間/年、審査員補は５時間/年、エキスパート審査員(単独登録の場合)は５時間/年のCPD実績が必要。 | 合計 |
|  |

**【備考】QMS審査員のISO9001:2015移行、OHSMS審査員のISO45001:2018移行について**

QMS審査員／OHSMS審査員の最新規格に対応した資格での登録／移行のための「継続的専門能力開発（CPD）」提出方法には、以下の方法があります。「審査員補」「審査員」「主任審査員」「エキスパート審査員」とも共通です。

**(1) 「JRCA登録 ISO 9001 差分研修」、「JRCA登録 ISO45001 差分研修」への参加**

**1) QMS審査員の場合**

JRCA登録のISO9001:2015の理解に関する研修コースを修了された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の1項に該当事項を記入し、修了証（合格証）写しを添付して提出してください。この場合は、「2015年版改訂規格学習の記録（QMS審査員）」（様式4C）の添付は不要です。

なお、修了証の提出のみで移行申請ができるのは、修了証に**「JRCA登録 ISO9001 差分研修」**と表記があるものですのでご注意ください。

**2) OHSMS審査員の場合**

JRCA登録のISO45001:2018の理解に関する研修コースを修了された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の1項に該当事項を記入し、修了証写しを添付して提出してください。この場合は、「JIS Q 45001（ISO45001）規格学習の記録」（様式4D）の添付は不要です。

なお、修了証の提出のみで移行申請ができるのは、修了証に**「JRCA登録 ISO45001 差分研修」**と表記があるものですのでご注意ください。

**(2) IAF加盟認定機関から当該MSの認定を受けているMS認証機関が主催する研修等への参加**

IAF加盟認定機関（JAB、UKAS等）から当該MSの認定を受けているMS認証機関が実施した、所属する審査員を対象とする改訂規格に関する研修（複数回でも可、FDIS以降の規格に関する研修を含むこと）に参加し、改訂規格の内容や必要な審査方法等に関して充分に理解された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の2項に該当事項を記入し、修了証又は責任者証明を添えて、さらに研修プログラム写しを添付してください。

なお、修了証又は責任者証明に代えて、QMS移行の場合は「2015年版改訂規格学習の記録（QMS審査員）」（様式4C）、OHSMS移行の場合は「JIS Q 45001（ISO45001）規格学習の記録」（様式4D）の提出でも可です。

**(3) 一般研修への参加**

上記(1)､(2)以外の研修、セミナー、講演会等に参加された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の3項に該当事項を記入し、QMS移行の場合は、習得内容を記述した「2015年版改訂規格学習の記録（QMS審査員）」（様式4C）、OHSMS移行の場合は、習得内容を記述した「JIS Q 45001（ISO45001）規格学習の記録」（様式4D）を提出してください。研修プログラム写しの添付は必要ありません。

**(4) 自己学習等**

規格や専門図書、グループ活動、インターネット利用等により自己学習された場合は、「継続的専門能力開発実績の記録A」（様式4A）の4項に該当事項を記入し、QMS移行の場合は、習得内容を記述した「2015年版改訂規格学習の記録（QMS審査員）」（様式4C）、OHSMS移行の場合は、習得内容を記述した「JIS Q 45001（ISO45001）規格学習の記録」（様式4D）を提出してください。

以上